

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

- ◇学びを広げる子
- ◇思いやりあふれる子
- ◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@city.tomakomai.hokkaido.jp
第9号平成30年12月21日発行



実りの多い2学期でした

校長 松井 操人

本日、2学期終業式を迎えました。子どもたちには、2学期にがんばることとして右に書いたことを重点的に指導し、大きな成果を挙げることができました。以下、その成果をいくつかご紹介します。

読書 図書室の図書貸出冊数 一人あたり昨年度比+5冊達成！

いじめゼロ 11/29 児童会主催「なかよし集会」初開催

異学年で構成されたチームで遊んだり、元気よく全校で歌を歌ったり、心が温まる集会になりました。また、学級ごとに「いじめゼロ」の取組や決意を発表しました。

発表 「話し合い」「ペアやグループでの意見の交流」を含め、だんだん慣れて、上手になってきました。

あいさつ 「先に」あいさつをしてくれる子どもが増えました。また、「足を止めて礼をする」子どもが高学年だけでなく、低学年にも広がってきています。

- ・家庭学習
- ・読書
- ・外遊び
- ・いじめゼロ
- ・発表
- ・行事 ～学芸会～
- ・ゲーム ユーチューブは1時間以内
- ・あいさつ



明日から始まる冬休みは、計画的に過ごし、自由研究や家庭学習、読書に取り組むことはもちろんですが、ゲームやスマホ、タブレットなど電子メディアにどっぷりはまらないよう、家庭でも十分に気をつけていただきたいと思います。学校では、使用の目安を「1日1時間以内」と子どもたちに話しています。

出典：東北大 川島隆太教授の著書

『読書がたくましい脳をつくる』 くもん出版

『スマホが学力を破壊する』 集英社新書

どうして「1日1時間以内」なのか

仙台市の小中学生のべ7万人の調査データを分析し、以下のことが事実としてわかりました。

- 1 スマホを長時間（1時間以上）使用すると、学習効果にマイナスの効果が出ています。
- 2 それは、スマホを長時間使用したことによる「家庭学習時間の減少」や「睡眠不足」が原因なのではありません。
- 3 スマホを長時間使用することそのものによる影響です。
- 4 その証拠に、スマホを使わなくなると成績が急回復しています。
- 5 しかも、スマホの長時間使用は子どもの脳の発達に悪影響を与えている可能性が高いです。
- 6 ゲームやテレビも、スマホほどではありませんが、似た傾向があります。
- 7 ただし、一日1時間以内の使用に抑えている子どもだと影響は少なく、逆にプラスの学習効果が現れている場合もあります。

ご家族おそろいで、健康でよい新年を迎えられますようご祈念申し上げます。

